

マキノ病院ニュース

第115号

— 令和3年1月1日発行 —

新年のご挨拶

理事長 森田 豊

昨年は何と言っても新型コロナウイルスに翻弄された一年であつたと思います。わが国は、欧米に比べ感染者数、重傷者、死者とも相対的に少なく推移してきましたが、現在の第3波と言われる感染拡大は規模も大きく収束の兆しが見えておりません。高島市では滋賀県や全国の平均と比べ感染者数は少ないものの、決して楽観できる状況ではなく、皆様も憂鬱な新年を迎えられたのではないのでしょうか。

このコロナ禍にあつて、ご自身に発熱等新型コロナウイルス感染を疑う症状が出た場合どうすればよいのか不安をお持ちの方も多いのではないのでしょうか。そこで、当院の発熱患者さんへの対応をご紹介させていただきます。

まずは、医療従事者への感染を避けるため、診察にあたっては、マスクや手袋はもとより、必要に応じて厳密な感染防御服を着用し診察させていただきます。仰々しさに驚かれることもあるかとは思いますが、感染予防のためとお許しください。

また、医療従事者への感染を避けるため、診察にあたっては、マスクや手袋はもとより、必要に応じて厳密な感染防御服を着用し診察させていただきます。仰々しさに驚かれることもあるかとは思いますが、感染予防のためとお許しください。

また、医療従事者への感染を避けるため、診察にあたっては、マスクや手袋はもとより、必要に応じて厳密な感染防御服を着用し診察させていただきます。仰々しさに驚かれることもあるかとは思いますが、感染予防のためとお許しください。

診療科のご案内
内科・外科・小児科・整形外科・皮膚科・神経内科・総合診療科
肛門外科・泌尿器科・リハビリテーション科・リウマチ科・放射線科
【救急指定・労災指定】【人間ドック・各種健診】

— 診療受付時間 —
平日 8:30 ~ 12:00 16:40 ~ 19:00 土曜日 8:30 ~ 12:00
滋賀県高島市マキノ町新保 1097 TEL 0740-27-0099
ホームページ <http://www.makino-hosp.or.jp>

ドクターコーナー



2019年4月にもこちらのコーナーで取り上げた子宮頸がん予防ワクチンですが、その後も日本における接種の状況には大きな変化はなく、いつまで経つても「ワクチン接種勧奨の一時停止」のままです。ワクチンの接種が始まったのが2009年12月。2013年4月に定期接種となったものの、2013年

子宮頸がん予防ワクチンについて

小児科 河原 敦

6月には勧奨の一時停止とされたので、10年以上もこの問題が膠着したままということになります。いまだに漠然と怖いというイメージだけが残っており、それもある程度仕方がないこととも思いますが、2015年に名古屋市で行われた大

規模調査（3万人が回答）で、ワクチンを接種した人と接種していない人で差はみられなかったという結論が得られています。海外からも安全性と効果についての報告も積み重ねてきています。これまでは、子宮頸がんの前段階の予防効果しか証明

な中、うちの長女がワクチン接種の対象年齢となったことから、わが子への接種を行いました。その後から、当院スタッフのお子さんをはじめとして、少しずつ接種を希望されることが増えてきております。

生から高校1年生の女子が対象です。およそ半年かけて3回の接種を行いますので、特に中学3年生、高校1年生のお子さんの場合は、より早めの検討をお願いします。接種を希望される場合、通常の予防接種として行っておりますので、予約をお願いします。接種についてご相談ございましたら、お気軽にお問い合わせください。

規模調査（3万人が回答）で、ワクチンを接種した人と接種していない人で差はみられなかったという結論が得られています。海外からも安全性と効果についての報告も積み重ねてきています。これまでは、子宮頸がんの前段階の予防効果しか証明

な中、うちの長女がワクチン接種の対象年齢となったことから、わが子への接種を行いました。その後から、当院スタッフのお子さんをはじめとして、少しずつ接種を希望されることが増えてきております。

最近では公費による接種の機会を逃してしまった年代の方たちが、成人を迎えるようになり、「自分の一問題であるとして声をあげるようになってもらえます（参照・HPVワクチン for me）。

公費での接種対象年齢が小児期であることから、どうしても保護者の判断が優先となってしまうことです。将来にわたって大事なことですので、娘さん、あるいはお孫さんともよく話合せて検討してもらえたらと思います。